急性膿皮症（蜂窩織炎を含む）にて点滴療法を受ける＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

＊急性膿皮症とは、皮膚と皮下の脂肪組織に細菌感染を起こし炎症を生じる病気です。点滴治療を行います。

ゴール目標：新しい発疹がなく、痛みの程度が３以内になれば退院できます

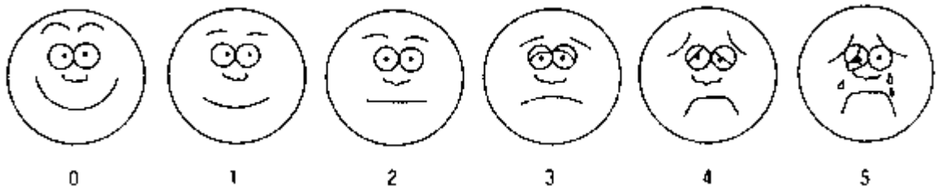
	入院日	２日目～７日目	８日目～９日目	１０日目～ 退 院
月日	／	／	／	／
検　査 治　療 処　置	・抗生剤の点滴をします 	・抗生剤の点滴を１日３回、もしくは２回します	・医師の指示で抗生剤の内服が出ることがあります 	・**医師の許可があれば退院できます** ・病状により退院時に薬が出ます 
安静度	・安静について指示があります			
食　事	・医師に制限があるかを確認します			
排　泄	・医師に制限があるかを確認します			
清　潔		・熱がなければ、シャワー浴ができます ・お体の状態により、体を拭きます 		
観　察	・体温・脈拍・血圧を測定します ・皮膚の状態（発赤・熱感など）を観察します ・痛みの程度を観察していきます（裏面のスケール使用）			
その他	・入院までの経過など症状をお伺いします ・入院生活について看護師が説明します ・入院後に、入院診療計画書の説明をします 	・薬剤師が薬について説明します 		・退院前に、看護師が裏面を使用し退院後の説明をします 
説明者				

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（　　）　担当看護師（　　）

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】＋【食事負担額】＋【その他（個室料、診断書料など）合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1 割～3 割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟担当事務

疼痛スケール（痛みの程度を参照してください）



０：全く痛まない　　１：ほとんど痛まない　　２：軽い痛み

３：中度の痛み　　４：高度の痛み　　５：耐えられない痛み

退院後は次のことに注意してお過ごしください。

１．日常生活について

①睡眠と栄養を十分にとり、疲れやストレスが溜まらないようにしましょう。

②皮膚を清潔に保ちましょう。毎日、入浴してもかまいませんが熱いお湯での入浴は避けましょう。

③医師の指示があるまで、軟膏処置・内服は継続してください。

④安静については、医師の指示を守ってください。

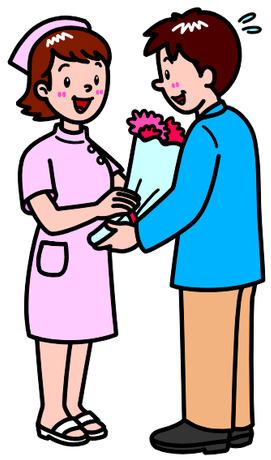
２．再診日以前に以下の症状や心配事がありましたら、病院へ連絡または受診をしてください。

①皮膚の状態が悪化した。（水疱ができた・赤みや発疹の範囲が広がった・皮膚がジュクジュクするなど）

②痛みが増強して、薬を飲んでも治らない。

なお、痛みや皮膚の赤みなどは、すぐに治るものではありません。詳しくは医師に確認してください。

３．**次回受診日：　　月　　日（　　曜日）**



４．連絡先

福井赤十字病院　　ＴＥＬ（０７７６）３６－３６３０

皮膚科外来　　月～金　８：３０～１７：００

※上記以外の時間及び休日は**救急外来**または**入院病棟**へご連絡ください。